

～参院選ってなんだろう？～

参院選とは参議院議員通常選挙のこと。参議院議員の任期は6年ですが、定数の半分は3年で入れ替わります。参院選は選挙区選挙、比例代表選挙の2つの選挙方針によって議員が選ばれますので、有権者はこの2つに投票します。今回の参議院選挙の改選数は248議席の半数となる124人となりますが、非改選の1議席の選挙も同時に行なわれるため、125人（選挙区75、比例代表50）が選ばれることとなります。投票日は7月10日です。

選挙区選挙とは

都道府県の区域（一部は合区）で行なわれ、候補者名を書いて投票する選挙です。各選挙区の人口によって当選人数が割り振られていて、得票数で当選者が決まります。（75議席）

比例代表選挙とは

全国を1つの単位として、候補者名（または政党名）を書いて投票する選挙です。当選人の数は、政党ごとに「ドント式」で配分されます。（50議席）



参院選がなぜ大事なのか！！

現在の物価高騰やエネルギー価格上昇への対応、また憲法改正の議論もありますが、すべて政治（国会）によって決定されます。また、直近2回の政権交代は、参院選での与党大敗がきっかけでした。そのため参院選の結果次第では政権運営に大きな影響を及ぼします。もちろん私たち自身や家族、職場の仲間の生活にも大きく影響するだけに、無関心ではられません！！

政治への関心を高め、皆で投票に行こう！！